

## 会社沿革

- 1987 年
  - ・米国オレゴン州、EMP International, Inc. とライセンス契約締結
  - ・MEDIC First Aid (以下、MFA) という応急手当プログラムを日本に導入することに。
  - ・対応マーケットはレジャーダイビング業界以外の全マーケット
- 1988 年
  - ・資本金 300 万円をもって株式会社イーエムピージャパンを設立
  - ・日本語版教材開発 (英文オリジナルからの翻訳版) へ着手
- 1991 年
  - ・本社を東京都小平市学園西町 1 - 2 6 - 4 1 中村ビル 4F に移転
  - ・資本金を 1,000 万円に増資
  
  - ・「小児 MFA」と「ベーシック MFA」(マーク II)プログラムを始動
  - ・業界初の視聴覚教材プログラム、スライド写真を使用した VHS 7 本を一つのプログラムに使用
  - ・「ハイポサーミア」(低体温症)の応急手当コースをサプルメント (追加講習) として発表
- 1992 年
  - ・NHK テレビ「モーニングワイド」、その他のメディアで紹介される
- 1993 年
  - ・十分に時間が取れない受講者のための業界初の 4 時間プログラム、ケア・イニシエーター・コース (CIC)発表
  - ・インストラクター・トレーナー 9 名が誕生
  - ・組織との提携による、組織のロゴ入り認定カードが誕生 (AFFA JAPAN)
- 1994 年
  - ・「善意に法的責任なし」という政府見解が発表される
- 1995 年
  - ・PADI が独占していたレジャーダイビング・マーケットが撤廃になる
- 1996 年
  - ・AHA(アメリカ心臓協会)による医学ガイドライン(以下、ガイドライン)の改訂に伴い、コア・プログラムを「マーク III」にアップデートして発表
  - ・視聴覚教材がスチル・ビデオから静止画と動画の組み合わせビデオ (VHS) へ進化
- 1998 年
  - ・スポーツ医学 MFA プログラムを発表 (ライセンサー側の終了を受けて'06 年に終了)
  - ・CMAS Japan と提携、CMAS のロゴマーク入り MFA 認定カードがスタート
  - ・DAN Japan との提携により、DAN 緊急酸素供給法の指導団体となる

- 1999年
- ・米国 EMS（救急サービス・システム）の応急手当での新しい教育モデルを取り入れた
  - 「マーク IV」へアップデート
  - ・MTES と提携、MTES のロゴ入り MFA 認定カードがスタート
- 2000年
- ・ライセンサーの撮影スタッフ4名が来日、プログラムのグローバル化を目指して日本各所で撮影
  - ・本社を学園西町2-13-33 コスモ一橋学園へ移転（8月）
  - ・弊社公式ホームページを立ち上げ
- 2001年
- ・AHA ガイドラインの改訂により「バージョン 5.0」へアップデート、視聴覚教材が VHS 7本から2本に。（呼称をマークからバージョンへ変更）
  - ・アフターショック（手当後のトラウマに特化した）プログラムを発表
  - ・受講者側からの要望を受けて IN-HOUSE TRAINING PROVIDER（企業・組織内）認定証を発行開始
  - ・ライセンサー側の終了を受けて、スポーツ医学 MFA を終了
- 2002年
- ・弊社ライセンサーであるアメリカ EMP 社の創設者 Maryl Barker 氏が引退、William Clendenen 氏が継承
  - ・社名も EMP International, Inc. から MEDIC FIRST AID International, Inc. へ変更。
  - ・日本初の AED トレーニング・プログラムをサプリメントプログラム（AED コース）として発表
  - ・大手航空会社 CA、スポーツクラブ・スタッフなどにいち早く採用される。
- 2003年
- ・緊急酸素プログラムを発表（平成 21 年、薬事法改正により酸素購入ができなくなったため終了）
  - ・PADI が米国 MFA 社との契約を終了。弊社は事実上の日本総代理店になる
- 2005年
- ・日本初の「血液感染性病原体」プログラムを発表
  - ・AHA の応急手当プログラムの提携トレーニングセンターが日本に誕生。
- 2006年
- ・弊社ライセンサーである MEDIC FIRST AID International, Inc. が投資会社である The Riverside Company の傘下へ。
  - ・弊社名を MFA ジャパン株式会社へ変更、現在に至る
- 2006年
- ・AHA ガイドライン 2005 を受けて「バージョン 6.0」へアップデート
  - ・このバージョンから AED トレーニングとアフターショックの情報がコア・コースに組み込まれたことから、AED コースとアフターショック・プログラムを終了

- ・バージョン 6.0 から「ベーシックプラス」「チャイルドケアプラス」という名称へ変更。
  - ・受講生ブックも A4 から B5 版へ小型化。
  - ・視聴覚教材も VHS から DVD へ進化
- 2007 年
- ・ケアプラス・コースからケアプラス CPR&AED コースへ進化
- 2008 年
- ・Riverside 社傘下のブランドが H.S.I. (Health & Safety Institute) の名称の下へ統合される
- 2009 年
- ・エマージェンシー・ファーストエイド・コースを日本の受講者のために開発。  
(CPR、AED、その他のスキル部分を除くファーストエイドのみのコース)  
他社 CPR トレーニング修了者にもファーストエイド部分を補えるコースとして好評
- 2011 年  
改訂
- ・MFA インストラクターのルールブックとも言える「規約とルール」が TCAM として
  - ・MFA インストラクター全員がトレーニングセンター運営者か所属に
  - ・ガイドライン 2010 を受けた「バージョン 7.0」へアップデート
  - ・受講生ガイドをさらに小型化して A5 サイズへ。
- 2013 年  
表
- ・チャイルドケア・トピックスという幼児・保育の施設の安全に特化したプログラムを発売
  - ・日本で初めて講習にエピペン（アナフィラキシー対応薬）の使用法を組み込む
- 2016 年
- ・ガイドライン 2015 を受けて、「バージョン 8.0」へアップデート
- 2019 年
- ・競合他社プログラムのインストラクターのためのクロスオーバー・コース (IOC) を新設
- 2020 年
- ・AHA が医学ガイドラインを改訂。